

みずほCustomer Desk Report 2018/10/19号(As of 2018/10/18)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	112.63	1.1501	129.51	1.3102	0.7111
SYD-NY High	112.74	1.1527	129.72	1.3131	0.7151
SYD-NY Low	111.95	1.1449	128.32	1.3017	0.7097
NY 5:00 PM	112.20	1.1455	128.50	1.3019	0.7099
NY DOW	25,379.45	▲ 327.23	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	7,485.14	▲ 157.56	日本10年債	0.1500	1.00bp
S&P	2,768.78	▲ 40.43	米国2年債	2.8721	▲ 2.06bp
日経平均	22658.16	▲ 182.96	米国5年債	3.0246	▲ 3.60bp
TOPIX	1704.64	▲ 9.23	米国10年債	3.1758	▲ 3.02bp
シカゴ日経先物	22,345.00	▲ 555.00	独10年債	0.4120	▲ 4.90bp
ロンドンFT	7,026.99	▲ 27.61	英10年債	1.5385	▲ 3.50bp
DAX	11,589.21	▲ 125.82	豪10年債	2.7380	3.05bp
ハンセン指数	25,454.55	▲ 7.71	USDJPY 1M Vol	6.75	0.07%
上海総合	2486.4186	▲ 75.20	USDJPY 3M Vol	7.04	0.07%
NY金	1,230.10	2.70	USDJPY 6M Vol	7.65	0.10%
WTI	68.65	▲ 1.10	USDJPY 1M 25RR	-0.80	Yen Call Over
CRB指数	196.63	▲ 2.26	EURJPY 3M Vol	8.92	0.15%
ドルインデックス	95.90	0.33	EURJPY 6M Vol	9.40	0.13%

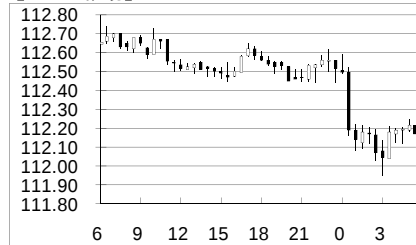
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月18日	17:30	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	9月 -0.8%/3.2%	-0.4%/3.8%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 210k	211k
10月19日	01:15	米 クオールズFRB副議長 講演「新興市場への米金融政策の影響を考慮」		

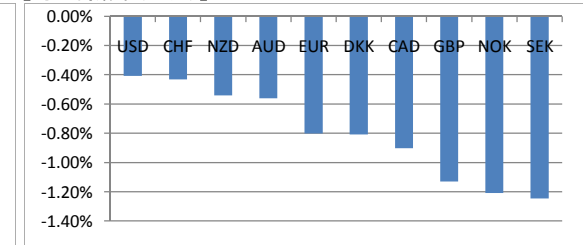
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月19日	08:30	日 CPI/コアCPI/コアコアCPI	9月 1.3%/1.0%/0.4%	1.3%/0.9%/0.4%
	11:00	中 GDP(前年比)	3Q 6.6%	6.7%
	11:00	中 小売売上高(前年比)	9月 9.0%	9.0%
	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	9月 6.0%	6.1%
	21:30	加 小売売上高(前月比)	8月 0.3%	0.3%
	21:30	加 CPI(前年比)	9月 2.7%	2.8%
	23:00	米 中古住宅販売件数	9月 5.29m	5.34m
10月20日	01:10	英 カーニー-BOE総裁 講演	-	-
	01:45	米 カプラン-ダラス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.60-112.60	1.1400-1.1500	127.50-129.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円相場は下落。イタリアの来年度予算案を巡り、欧州委員会が欧州連合(EU)財政規律への重大違反が見られると指摘したこと、並びにEU首脳会議で英離脱(ブレグジット)交渉の打開策が見出せない中で、リスク回避の動きが優勢になったことが背景。イタリア財政への懸念並びにブレグジット交渉については、一長一短で解決を見るような事態の進展は想定しづらく、引続きリスクセンチメントの動向に暗雲をもたらす材料となろう。上記要因などを背景に、昨日は米株が下落、米金利も低下する動きが見られた。イベントの乏しい本日は、前日までの流れを受けて基本的には上値の重い展開になると考えている。

東京	オセアニア時間、高値112.74を付ける場面も見られたが、狭いレンジでの推移が続き、112.63レベルで東京時間オープン。米財務省による為替報告書で日本に対する見方が穏やかだったこともサポート材料となりドル円は公示仲値の発表にかけて111.73まで底堅く推移。しかしその後は上海総合株価指数が年初来安値を更新する中、ドル円は軟調推移の展開となり、112.47レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は、112.47レベルでオープン。欧州時間は固有の材料が少なく112.45-65円の狭いレンジで推移し112.46レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1485レベルでオープン。イタリア予算についてEU側からの懸念が伝わる中、主にボントにつれる動きとなり終始買い戻され1.1527まで堅調に推移し1.1516レベルでNYに渡った。ボントドルは1.3083レベルでオープン。開催中のEUサミットにて英イ首相が移行期間の延長を打診したことが伝わる中、じわじわと買い戻される展開で一時1.3131まで上昇、しかしその後、一部報道で「英国は合意なきブレグジットへ向かっている」と伝わると値を下げ1.3109レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は前日のNYクロス後に公表された米財務省の為替報告書で中国の為替操作国認定が見送られたことや日本に対する見方に特段サプライズがなかったことから112.74まで上昇。しかし、日経平均株価や上海総合指数の下落が警戒されたことから112.45まで反落し、112.46レベルでNYオープン。NY朝方発表されたフィデリティ連銀景況指数は事前予想を上回ったが、材料視されず112.50近辺でもみ合い。その後、中国株の下落やイタリアの予算案を巡る懸念が再び意識されたため、株安債券高の動きとともにリスク回避の買い戻しが強まり下落。一時112円を割り込み安値111.95まで下落する場面も見られたが、売り一巡後は、112.15近辺で推移し112.20レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルはブレグジット交渉を警戒した展開が続き、英イ首相が交渉期間の延長案を示唆したことを受け高値1.1527まで上昇するが、当初期限の11月中の合意が難しいとの見方もある中、上値は重く推移し、1.1516レベルでNYオープン。NY朝方は1.1480まで下落するが、特段目立ったヘッドラインがない中1.1518まで急上昇するもすぐに反落。その後、欧州委員会と対するイタリア予算案への懸念が強まる中、ドラギECB総裁が「EU規則は経済が弱い国こそ尊重すべきだ」と発言したことが伝わり、ユーロ売り優勢の展開が続く。結局、1.1449まで下落した後、小幅反発し1.1455レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:上野・田家